

平成23年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月21日

上場取引所 JQ

上場会社名 愛光電気株式会社

コード番号 9909 URL <http://www.aiko-denki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 保

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 渡邊 幹夫

TEL 0465-37-2121

四半期報告書提出予定日 平成22年7月30日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の業績(平成22年3月21日～平成22年6月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,151	△1.0	△77	—	△52	—	△36	—
22年3月期第1四半期	2,173	△9.9	△56	—	△34	—	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△8.43	—
22年3月期第1四半期	△5.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	4,979	1,905	38.3	434.49
22年3月期	5,053	1,957	38.7	446.25

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,905百万円 22年3月期 1,957百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	4,772	8.3	△52	—	△12	—	△13	—	△3.05
通期	9,800	7.1	△59	—	17	△47.0	5	185.2	1.14

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期第1四半期	4,411,000株	22年3月期	4,411,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	23年3月期第1四半期	25,816株	22年3月期	24,965株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	23年3月期第1四半期	4,385,433株	22年3月期第1四半期	4,387,396株
--------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、景気の後退に一部では歯止めが掛かったものの、全体的回復には依然として厳しい状況が続いております。電設資材卸業界におきましても引き続き厳しい経営環境となっております。

こうした情勢の中で当社においては、雇用・所得環境の低下、デフレ圧力が強まるなかでの市場の冷え込みおよびこれに伴う競争激化の影響を受け全般的に売上が低迷いたしました。5月には展示即売会「AIKOフェスタ2010」を実施いたしました。当第1四半期会計期間における売上高は2,151百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

利益面につきましては、売上総利益はおおむね前年同四半期並に推移いたしました。経費につきましても効率的な支出に努めてまいりましたが、営業損失77百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）となり、経常損失52百万円（前年同四半期は経常損失34百万円）、四半期純損失は36百万円（前年同四半期は四半期純損失22百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末の総資産は4,979百万円となり、前事業年度末に比べ74百万円減少いたしました。流動資産は3,907百万円となり、73百万円減少いたしました。主な要因は売上債権の減少です。固定資産は1,072百万円となり、前事業年度末から大きな変動はありません。

当第1四半期会計期間末の負債合計は3,074百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円減少いたしました。流動負債は買掛金の減少と短期借入金の増加等により2,902百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。固定負債は役員退職慰労引当金の取崩により171百万円となり、前事業年度末に比べ27百万円減少いたしました。

これらにより当第1四半期会計期間末の純資産の部は1,905百万円となり、前事業年度末と比べ51百万円減少いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比べて217百万円増加し、839百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は133百万円（前年同四半期に得られた資金は381百万円）となりました。これは主に、売掛金の回収によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2百万円（前年同四半期に使用した資金は15百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は87百万円（前年同四半期に使用した資金は30百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年4月30日発表の数値と同じであり、変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①法人税、住民税及び事業税並びに繰延税金資産の算定方法

法人税、住民税及び事業税の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しています。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸を基礎とした合理的な方法により算出する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	839,519	621,675
受取手形	1,456,440	1,326,841
売掛金	1,219,424	1,712,668
商品	298,315	234,972
その他	95,032	85,861
貸倒引当金	△1,493	△1,181
流動資産合計	3,907,239	3,980,838
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	244,952	247,413
土地	415,040	415,040
その他(純額)	33,036	35,880
有形固定資産合計	693,028	698,334
無形固定資産	26,477	28,795
投資その他の資産		
投資有価証券	51,439	52,996
その他	345,685	333,448
貸倒引当金	△44,428	△40,938
投資その他の資産合計	352,696	345,506
固定資産合計	1,072,202	1,072,635
資産合計	4,979,442	5,053,474
負債の部		
流動負債		
支払手形	437,277	378,731
買掛金	700,442	937,699
短期借入金	1,550,000	1,450,000
賞与引当金	27,504	—
その他	187,515	130,964
流動負債合計	2,902,739	2,897,395
固定負債		
退職給付引当金	122,870	126,216
役員退職慰労引当金	48,505	72,572
固定負債合計	171,375	198,788
負債合計	3,074,114	3,096,184

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,650	611,650
資本剰余金	691,950	691,950
利益剰余金	615,368	665,474
自己株式	△8,227	△8,014
株主資本合計	1,910,740	1,961,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,412	△3,770
評価・換算差額等合計	△5,412	△3,770
純資産合計	1,905,327	1,957,289
負債純資産合計	4,979,442	5,053,474

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年6月20日)
売上高	2,173,216	2,151,158
売上原価	1,825,595	1,800,214
売上総利益	347,620	350,944
販売費及び一般管理費	404,439	428,031
営業損失(△)	△56,818	△77,087
営業外収益		
仕入割引	29,724	29,478
その他	2,306	3,880
営業外収益合計	32,031	33,358
営業外費用		
支払利息	3,767	2,328
売上割引	6,264	6,857
その他	42	19
営業外費用合計	10,074	9,204
経常損失(△)	△34,861	△52,933
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,026	210
特別利益合計	7,026	210
特別損失		
固定資産除却損	—	392
投資有価証券評価損	—	309
特別損失合計	—	702
税引前四半期純損失(△)	△27,835	△53,426
法人税、住民税及び事業税	2,071	2,183
法人税等調整額	△7,429	△18,661
法人税等合計	△5,357	△16,478
四半期純損失(△)	△22,478	△36,948

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年6月20日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年3月21日 至 平成22年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△27,835	△53,426
減価償却費	12,537	11,230
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,248	△3,346
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,827	△24,067
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,267	3,802
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,253	27,504
受取利息及び受取配当金	△433	△717
支払利息	3,767	2,328
投資有価証券評価損益(△は益)	—	309
有形固定資産除却損	—	392
売上債権の増減額(△は増加)	577,807	363,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△122,311	△63,342
前払費用の増減額(△は増加)	△578	△1,060
未収入金の増減額(△は増加)	12,289	8,594
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,956	△3,610
破産更生債権等の増減額(△は増加)	3,995	△7,111
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,072	△178,711
未払金の増減額(△は減少)	△4,742	45,946
未払費用の増減額(△は減少)	2,430	3,300
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,334	4,114
預り金の増減額(△は減少)	2,755	874
その他	△5,159	141
小計	385,070	136,791
利息及び配当金の受取額	820	916
利息の支払額	△3,636	△2,385
法人税等の支払額	△593	△1,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,661	133,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,019	△2,205
無形固定資産の取得による支出	△780	△1,980
投資有価証券の取得による支出	△86	△89
貸付けによる支出	—	△220
貸付金の回収による収入	200	920
その他	39	634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,645	△2,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100,000
自己株式の取得による支出	△121	△213
配当金の支払額	△30,754	△12,377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,876	87,408
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	335,139	217,843
現金及び現金同等物の期首残高	580,650	621,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	915,790	839,519

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。